

# 洋の仕事着

病院



医師

技師

看護師

まもる・ささえる



病院で働く看護師

役所



市役所職員の作業衣

農業改良普及員

生活改良普及員

市役所女性制服

消防



消防団



飛鳥婦人消防隊(大正)

つくる



レストラン

お菓子屋



製造

はこぶ



運送



鉄道(夏)



鉄道(冬)



スーパー



集配用バック

安全靴・ヘルメット  
(運送用)



バス



タクシー

第152回企画展

## 仕事着の彩りと形

開催期間 平成20年

3月20日(木)~5月25日(日)

開館時間 午前9時~午後4時30分

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日・4月から会期中無休)

入館料 一般100円・小学生~大学生50円  
(土・日曜日は小・中学生無料)

酒田市立資料館

酒田市一番町8番16号 TEL.0234-24-6544  
e-mail: sakata-city-museum@fork.ocn.ne.jp



# 和の仕事着

## 開催にあたって

仕事着は一種のユニホームであり、シンボルともなっています。そして、仕事着は、生業の形態にあわせた作業のしやすさに加えて、衛生面や清潔感の確保、汚れ防止のほか、暑さを凌ぎ寒さを防ぐ工夫、さらには、丈夫で長持ちするよう留意してつくられました。このような工夫を凝らした仕事着から、機能美とともに形や素材のもつ色彩と柄などの彩りも巧みに取り入れ縫い上げた想いが伝わってきます。

また、仕事着は、古来からの和装に加えて、明治以降の近代化の浸透に伴い洋装の制服や作業服が普及して、多様なバリエーションが見られるようになりました。しかし、一方では近年、私服との区別がつかない個性溢れるスタイルで仕事に励む姿も多く見受けられます。定型的な仕事着が形を変えつつあるようです。

本展では、生業や職種の違いによる彩りや形に配慮しつつ、簡素ながらも機能美に富む和と洋の多様な仕事着の一端を紹介し、そのありようを考えます。

本企画展の開催にあたり、貴重な資料を快くご提供くださいました関係機関、団体、各位並びにご協力賜りました方々に心から御礼申し上げます。

【資料提供及び展示協力】医療法人間病院、花王(株)酒田工場、(株)Aコープ庄内、(株)エコーライフ、月山羽黒山湯殿山出羽三山神社、菊水ホテル(株)、工藤泰治氏、佐藤きよ子氏、佐藤玄治氏、持地院、庄内交通(株)、庄内振興(株)、ト一屋(株)、東根菓子舗(株)、前田製管(株)、港タクシー(株)、山形県立博物館



行商



かっぽう着

活躍するかっぽう着

貝の選別作業



こもじ布団づくり



防火訓練のバケツリレー

「遠懐の輪渡川原画集」

## たがやす とる

かすり



縞(しま)



きしご



地引き網(明治)



稲の苗とり(昭和30年頃)



## あきなう



(表)

(裏)



## やすらぐ



僧侶



湯立神事(上日枝神社)



山伏



巫子



神主



佐藤薬舗(明治)

絆纏